

なぜ、  
日本酒を  
うまく活用する人は  
幸せになれるのか？

～日本酒に興味などない普通の皆さんのための、  
知らないと損する日本酒活用法！～

竹村 昭彦

司牡丹酒造株式会社 代表取締役社長

## はじめに

普段は意識していないかもしれませんが、あなたは以下のような  
思いを、心の中にしまいこんではいないでしょうか。

- A. 「お酒は全般に好きだけど、日本酒って飲んだことないし、何となくオヤジ臭いし、そもそも選ぶ対象に入っていない。」
- B. 「お酒は嫌いじゃないけど、子供の頃に父親が日本酒で酔っ払ったニオイがイヤだったので、日本酒だけはちょっとダメ。」
- C. 「お酒に弱いのに、昔先輩に安い居酒屋で日本酒をムリヤリ飲まされて二日酔いになり、それ以来日本酒は苦手。」
- D. 「アルコール類は、まったく受け付けない体質。」

もし、上記のどれかに思い当たるフシや共感できる部分があった  
としたら、そんなあなたにこそ、この小冊子を是非読んでいただきたい  
のです。ただし、Dの方だけは、他の項目は飛ばして、「まったく  
飲めないあなたへ」の部分をご覧ください。日本人は、人種的にはモ  
ンゴロイドに分類されますが、その人種にはアルコールをまったく  
分解できない、つまり生まれつきまったく飲めない体質の人が存在  
していますから、そういう方はくれぐれもご注意ください。

この小冊子は、日本酒が苦手だったり、嫌いだったり、あるいは特に日本酒に興味など持っていない、ごくごく普通の一般の皆さんに向けて書かれたものです。よくある日本酒本のように、マニア向けでもセミプロ向けでもありませんので、小難しい専門用語などほとんどありません。この小冊子でお伝えしたいことはただ一点、「日本酒をこう活用すると、こんなふうに幸せになれる！」ということだけです。ごくごく普通の一般の皆さんが、知っておいた方が得すること。知っておかないと損すること。知っておけば人生がより楽しく豊かになること。知っているると幸せになれること。そんな日本酒の活用法をお伝えしたいのです。ですから、お猪口 1 杯しか飲めない人に向けた活用法や、まったくアルコールを受け付けない人に向けた活用法まで、紹介させていただいています。これまで日本酒が苦手だったり嫌いだったり、まったく興味など持っていなかったりした皆さんが、少しでも日本酒に興味を持ち、うまく活用し、幸せになっていたのなら、こんな嬉しいことはありません。そして、この小冊子を読み終えたとき、きっとあなたはこうつぶやかれることでしょう。「これ、もっと早く知っていたら・・・！」と。

竹村 昭彦